

令和2年度

京都府がん検診受診率調査報告書

令和2年9月

京都府

◆調査の概要

1. 目的	4
2. 調査対象、調査方法等	4
3. 回収結果	4
4. がん検診に関するアンケート調査 対象者の概要	5

◆結果の概要

1. がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況	10
2. がん検診の受診・未受診理由	14
3. 特定健診の受診状況	18
4. 喫煙について	20

◆調査の概要

京都府がん検診受診率調査の概要

1. 目的

健康長寿日本一の実現のためには、疾病を早期に発見し、適切に治療することが重要であり、がん検診受診率のさらなる向上対策が必要である。そのため、がん検診のデータを分析し、受診率向上対策の基礎資料とするとともに、その結果を公表することを目的とする。

2. 調査対象、調査方法等

調査の種類	調査対象	調査方法	主な調査項目	調査時期
がん検診に関するアンケート	府内に居住地を有する 20歳以上69歳以下の女性、 40歳以上69歳以下の男性	インターネット調査	<ul style="list-style-type: none">がん検診受診状況未受診理由特定健診に関する内容タバコに関する内容	令和2年9月

3. 回収結果

	有効回収標本数
がん検診に関するアンケート(インターネット調査)	6,000(※)

※がん検診に関するアンケート結果については、対象者である調査委託業者のモニターを地域別(保健所単位、丹後・中丹西・中丹東・南丹・京都市・乙訓・山城北・山城南)に区切った層に分け、地域別で100名以上、合計で6,000名程度の回収目標数を設定し、回収目標数に達した時点で調査を終了する手法をとった。(その後、一部の無効票を削除)

京都府がん検診受診率調査の概要

4. がん検診に関するアンケート調査 対象者の概要(実数)

(1)性別

性別	男性	女性	合計
人数	2,604	3,396	6,000
%	43.4	56.6	100.0

(2)年齢

年齢	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
人数	618	942	2,040	1,662	738	6,000
%	10.3	15.7	34.0	27.7	12.3	100.0

(3)居住する市町村

市町村	京都市	向日市	長岡京市	大山崎町	宇治市	城陽市	八幡市	京田辺市	久御山町	井手町	宇治田原町	木津川市	笠置町
人数	3,703	120	217	33	431	157	179	155	31	10	11	175	2
%	61.7	2.0	3.6	0.6	7.2	2.6	3.0	2.6	0.5	0.2	0.2	2.9	0.0

市町村	和束町	精華町	南山城村	亀岡市	南丹市	京丹波町	福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	京丹後市	伊根町	与謝野町	合計
人数	3	117	8	179	43	16	116	118	36	28	69	0	43	6,000
%	0.1	2.0	0.1	3.0	0.7	0.3	1.9	2.0	0.6	0.5	1.2	0.0	0.7	100.0

※なお、地域別の状況を分析するに当たっては、以下のようにグループ分けを行っている

地域分類 (大)	地域分類 (二次医療圏等)	地域分類 (保健所 単位)	該当市町村
丹後	丹後医療圏	丹後	宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町
中丹	中丹医療圏	中丹西	福知山市
		中丹東	舞鶴市、綾部市
南丹	南丹医療圏	南丹	亀岡市、南丹市、京丹波町
京都市	京都市	京都市	京都市
山城	乙訓地域	乙訓	向日市、長岡京市、大山崎町
	山城北医療圏	山城北	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
	山城南医療圏	山城南	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村

京都府がん検診受診率調査の概要

(4) 医療保険の種類

医療保険	市町村国民健康保険	市町村以外の国民健康保険	協会けんぽ	組合管掌健康保険	共済組合	その他	合計
人数	1,669	200	1,688	1,358	603	482	6,000
%	27.8	3.3	28.1	22.6	10.1	8.0	100.0

(5) 主たる仕事

仕事	勤め (全日)	勤め (パートタイム)	自営業、農業 (家業を手伝うものを含む)	専業主婦 (主夫)	学生	無職	その他	合計
人数	3,053	1,001	469	788	111	452	126	6,000
%	50.9	16.7	7.8	13.1	1.9	7.5	2.1	100.0

京都府がん検診受診率調査の概要

※がん検診に関するアンケート結果については、調査の概要で述べたように、地域別（保健所単位、丹後・中丹西・中丹東・南丹・京都市・乙訓・山城北・山城南）に区切った層に分け、地域別で100名以上、合計で約6,000名の回答者数を集めたため、結果の集計に際しては、平成27年国勢調査における人口構成比へのウェイトバック（平成27年国勢調査における各層の人口÷各層の回収数＝ウェイト値を回収票に乗じる方法）を行い集計した。

ウェイトバック元			人口構成 (平成27年国勢調査)		本調査の回収数		ウェイト値	ウェイトバック後の 本調査の構成	
性別	年齢	地域	人口	%	人数	%		人数	%
男性	40～49歳	丹後	5,963	0.4	30	0.5	0.899508611554228	27	0.4
		中丹西	5,516	0.4	19	0.3	1.313809589309440	25	0.4
		中丹東	7,950	0.6	32	0.5	1.124291484234470	36	0.6
		南丹	8,510	0.6	47	0.8	0.819395308408217	39	0.6
		京都市	100,745	7.6	641	10.7	0.711258128226248	456	7.6
		乙訓	11,703	0.9	78	1.3	0.678991555684357	53	0.9
		山城北	32,035	2.4	201	3.4	0.721257665332729	145	2.4
		山城南	8,791	0.7	63	1.1	0.631479856270271	40	0.7
	50～59歳	丹後	6,501	0.5	25	0.4	1.176798017852890	29	0.5
		中丹西	4,803	0.4	21	0.4	1.035035064156330	22	0.4
		中丹東	6,728	0.5	25	0.4	1.217889103847750	30	0.5
		南丹	8,076	0.6	43	0.7	0.849942655707707	37	0.6
		京都市	79,486	6.0	583	9.7	0.616998145205892	360	6.0
		乙訓	8,279	0.6	58	1.0	0.645968974919252	37	0.6
		山城北	23,107	1.7	168	2.8	0.622437935338862	105	1.7
		山城南	6,515	0.5	56	0.9	0.526487620469905	29	0.5
	60～69歳	丹後	7,972	0.6	15	0.3	2.405125826366030	36	0.6
		中丹西	5,528	0.4	11	0.2	2.274244326988490	25	0.4
		中丹東	8,639	0.7	14	0.2	2.792525896079550	39	0.7
		南丹	10,789	0.8	26	0.4	1.877887693996050	49	0.8
		京都市	91,672	6.9	280	4.7	1.481632329814790	415	6.9
		乙訓	9,556	0.7	28	0.5	1.544471435521220	43	0.7
		山城北	31,092	2.3	101	1.7	1.393121696855590	141	2.3
		山城南	8,053	0.6	39	0.7	0.934447406293450	36	0.6

京都府がん検診受診率調査の概要

ウェイトバック元			人口構成 (平成27年国勢調査)		本調査の回収数		ウェイト値	ウェイトバック後の 本調査の構成	
性別	年齢	地域	人口	%	人数	%		人数	%
女性	20～29歳	丹後	2,691	0.2	10	0.2	1.217798594847750	12	0.2
		中丹西	2,845	0.2	9	0.2	1.430545027598960	13	0.2
		中丹東	3,924	0.3	12	0.2	1.479822149815020	18	0.3
		南丹	6,080	0.5	26	0.4	1.058259076790800	28	0.5
		京都市	91,270	6.9	438	7.3	0.943008724767969	413	6.9
		乙訓	6,475	0.5	29	0.5	1.010423749873700	29	0.5
		山城北	20,532	1.5	81	1.4	1.147117770226980	93	1.5
		山城南	5,157	0.4	13	0.2	1.795211203621720	23	0.4
	30～39歳	丹後	4,201	0.3	23	0.4	0.826583280331467	19	0.3
		中丹西	4,361	0.3	19	0.3	1.038709865659620	20	0.3
		中丹東	5,897	0.4	24	0.4	1.111940776944340	27	0.4
		南丹	7,294	0.6	29	0.5	1.138228699857730	33	0.6
		京都市	90,952	6.9	609	10.2	0.675859980867898	412	6.9
		乙訓	9,528	0.7	67	1.1	0.643559516337446	43	0.7
		山城北	25,383	1.9	129	2.2	0.890461219656134	115	1.9
		山城南	7,577	0.6	42	0.7	0.816412729659853	34	0.6
	40～49歳	丹後	5,988	0.5	19	0.3	1.426231294558550	27	0.5
		中丹西	5,131	0.4	25	0.4	0.928803357883892	23	0.4
		中丹東	7,438	0.6	25	0.4	1.346411883831690	34	0.6
		南丹	8,798	0.7	41	0.7	0.971095343781057	40	0.7
		京都市	106,440	8.0	578	9.6	0.833371795743582	482	8.0
		乙訓	12,065	0.9	51	0.9	1.070579494964220	55	0.9
		山城北	32,602	2.5	144	2.4	1.024574450566370	148	2.5
		山城南	9,332	0.7	46	0.8	0.918076073798280	42	0.7
	50～59歳	丹後	6,308	0.5	13	0.2	2.195887584340860	29	0.5
		中丹西	4,611	0.3	10	0.2	2.086684994739120	21	0.3
		中丹東	6,557	0.5	19	0.3	1.561756612962660	30	0.5
		南丹	8,732	0.7	17	0.3	2.324484082062410	40	0.7
		京都市	84,882	6.4	437	7.3	0.879014294855802	384	6.4
		乙訓	8,459	0.6	44	0.7	0.870017762391252	38	0.6
		山城北	25,028	1.9	111	1.9	1.020387050322900	113	1.9
		山城南	7,258	0.5	32	0.5	1.026428627996700	33	0.5
	60～69歳	丹後	8,199	0.6	5	0.1	7.420832909072690	37	0.6
		中丹西	5,719	0.4	2	0.0	12.940524273383700	26	0.4
		中丹東	9,336	0.7	3	0.1	14.083200398239600	42	0.7
		南丹	11,266	0.8	9	0.2	5.664857743736340	51	0.8
京都市		103,121	7.8	137	2.3	3.406342550304180	467	7.8	
乙訓		11,201	0.8	15	0.3	3.379304362910920	51	0.8	
山城北		36,193	2.7	39	0.7	4.199733636654520	164	2.7	
山城南		8,995	0.7	14	0.2	2.907601624636590	41	0.7	
全体			1,325,835	100.0	6,000	100.0	1.0	6,000	100.0

◆結果の概要

本調査は、ウェイトバック後の数値を用いています。
四捨五入しているため、図表中の「合計」欄の数値と内訳の合計が一致しない場合があります。

1. がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況

※がん検診については、令和元年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)。ただし胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診は平成30年4月1日～令和2年3月31日)の受診状況を調査している(以下同じ)。

(1) 全体的な傾向

表1-1 がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況

	対象者(母数)		検査別受診率			指針に基づく受診率			国民生活基礎調査と同条件の受診率		
		対象者数(A)	検査項目	受診者数(B)	受診率(B/A) (単位:%)	検査項目	左記の受診者数 (実人数)(C)	受診率(C/A) (単位:%)	対象者	左記の受診者数 (実人数)(D)	受診率(D/A) (単位:%)
胃がん検診	男女40～69歳	4,669人	1.胃のエックス線検査	1,540人	33.0	1, 2いずれかひとつでも 受けた実人数	2,300人	49.3	1, 2, 3いずれかひとつでも 受けた実人数	2,393人	51.3
			2.胃カメラ	1,395人	29.9						
			3.胃がんリスク検査・ABC検査	947人	20.3						
肺がん検診	男女40～69歳	4,669人	4.胸部エックス線検査	2,702人	57.9	4をうけた実人数	2,702人	58.6	4, 5, 6いずれかひとつでも 受けた実人数	2,713人	58.1
			5.喀痰検査	323人	6.9						
			6.気管支鏡検査	265人	5.7						
大腸がん検診	男女40～69歳	4,669人	7.便の潜血検査	2,255人	48.3	7を受けた実人数	2,255人	48.3	7, 8, 9いずれかひとつでも 受けた実人数	2,383人	51.0
			8.大腸のエックス線検査	302人	6.5						
			9.大腸の内視鏡検査	595人	12.7						
乳がん検診	女性40～69歳	2,415人	10.乳房のエックス線検査	1,075人	44.5	10を受けた実人数	1,075人	44.5	10, 11, 12いずれかひとつでも 受けた実人数	1,182人	48.9
			11.乳房の超音波検査	685人	28.4						
			12.乳房の視触診検査	757人	31.4						
子宮頸がん検診	女性20～69歳	3,746人	13.細胞診検査(妊婦健診以外)	1,263人	33.7	13, 14いずれかひとつでも 受けた実人数	1,412人	37.7	13, 14いずれかひとつでも 受けた実人数	1,412人	37.7
			14.細胞診検査(妊婦健診)	576人	15.4						

○検査別の受診率は「4. 胸部エックス線検査」が57.9%で最も高い。次いで「7. 便の潜血検査」が48.3%と続く。

○指針に基づく受検率でみると、肺がん検診は6割弱、胃がん検診、大腸がん検診は5割弱、乳がん検診は4割強、子宮頸がん検診は4割弱となっている。

1. がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況

(2) 性別・年齢別の受検傾向

表1-2 がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況(性・年代別)

(単位:%)

		胃がん検診				肺がん検診				大腸がん検診				乳がん検診				子宮頸がん検診		
		1.胃のエックス線検査	2.胃カメラ	3.胃がんリスク検査・ABC検査	胃がん検診計※	4.胸部エックス線検査	5.喀痰検査	6.気管支鏡検査	肺がん検診計※	7.便の潜血検査	8.大腸のエックス線検査	9.大腸の内視鏡検査	大腸がん検診計※	10.乳房のエックス線検査	11.乳房の超音波検査	12.乳房の視触診検査	乳がん検診計※	13.細胞診検査(妊婦健診以外)	14.細胞診検査(妊婦健診)	子宮頸がん検診計※
男性	40～49歳	40.3	27.4	19.2	54.0	58.9	9.1	8.4	59.0	47.8	8.3	11.0	49.5							
	50～59歳	40.6	33.2	23.8	58.2	64.6	11.2	8.7	64.9	55.1	9.4	14.8	56.6							
	60～69歳	35.8	41.4	28.8	61.8	66.8	9.9	7.5	67.2	57.1	9.0	23.5	62.6							
	小計	38.8	33.9	23.9	57.9	63.3	10.0	8.2	63.5	53.1	8.9	16.4	56.1							
女性	20～29歳																	23.0	19.4	30.0
	30～39歳																	34.5	29.3	46.1
	40～49歳	27.2	21.3	13.8	42.0	48.0	3.7	3.1	48.1	42.3	3.6	6.2	44.0	45.4	34.1	32.7	51.2	41.6	15.0	43.7
	50～59歳	27.7	25.0	17.9	45.6	51.6	4.3	3.8	51.7	44.1	4.5	9.9	46.2	45.3	28.2	33.4	49.3	36.1	8.6	36.2
	60～69歳	27.8	31.6	19.2	47.5	58.4	4.3	3.3	58.9	44.9	4.5	11.8	48.7	43.1	22.9	28.5	46.5	31.4	7.0	31.7
	小計	27.5	26.1	16.9	45.0	52.8	4.1	3.3	53.1	43.8	4.2	9.3	46.3	44.5	28.4	31.4	48.9	33.7	15.4	37.7
合計																				
		33.0	29.9	20.3	51.3	57.9	6.9	5.7	58.1	48.3	6.5	12.7	51.0	44.5	28.4	31.4	48.9	33.7	15.4	37.7

※各検診集計は、各々の検診に関する検査のいずれか1つでも受けた人の割合

○女性は男性に比べて胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診率が低い。これらの検診は男女ともに年齢が高いほど受診率が上がる傾向がみられる。

○子宮頸がん検診の受診率は30代で最も高く4割半、次いで40代が4割強である。

(3) 職業別の受検傾向

表1-3 がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況(職業別)

(単位:%)

	胃がん検診				肺がん検診				大腸がん検診				乳がん検診				子宮頸がん検診			
	1.胃のエックス線検査	2.胃カメラ	3.胃がんリスク検査・ABC検査	胃がん検診計※	4.胸部エックス線検査	5.喀痰検査	6.気管支鏡検査	肺がん検診計※	7.便の潜血検査	8.大腸のエックス線検査	9.大腸の内視鏡検査	大腸がん検診計※	10.乳房のエックス線検査	11.乳房の超音波検査	12.乳房の視触診検査	乳がん検診計※	13.細胞診検査(妊婦健診以外)	14.細胞診検査(妊婦健診)	子宮頸がん検診計※	
勤め(全日)	44.4	35.7	25.7	49.7	72.0	9.2	7.9	72.0	60.9	8.3	14.6	62.6	50.3	34.7	36.6	55.9	38.0	18.2	42.1	
勤め(パートタイム)	26.4	26.0	15.7	33.5	53.0	4.3	3.8	53.1	41.5	3.3	10.0	45.9	49.2	33.0	35.9	52.7	37.8	14.3	41.1	
自営業、農業(副業を手伝うものを含む)	25.8	24.4	17.1	36.5	40.8	6.7	5.8	41.1	33.6	6.2	12.0	36.3	29.9	20.5	21.4	35.3	23.5	7.8	24.7	
専業主婦(主夫)	25.9	28.6	18.4	34.8	47.4	4.2	2.2	48.0	41.9	3.7	9.5	44.9	43.7	25.5	29.6	49.1	33.0	16.4	38.5	
学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	7.8	17.6	
無職	19.4	23.2	14.2	30.7	46.4	6.6	5.5	46.9	37.3	8.5	16.6	40.9	29.5	14.7	18.6	29.5	15.6	6.9	16.4	
その他	18.4	14.3	11.3	20.3	35.1	6.7	5.1	35.1	25.7	6.7	7.2	28.5	30.7	17.0	18.7	33.7	33.4	23.2	41.8	
合計																				
	33.0	29.9	20.3	51.3	57.9	6.9	5.7	58.1	48.3	6.5	12.7	51.0	44.5	28.4	31.4	48.9	33.7	15.4	37.7	

※各検診集計は、各々の検診に関する検査のいずれか1つでも受けた人の割合

○胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診については、勤め(全日)従事者の受診率が高く、無職など勤め以外において受診率が低い。

1. がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況

(4) 医療保険別の受検傾向

表1-4 がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況(医療保険別)

(単位:%)

	胃がん検診			肺がん検診				大腸がん検診				乳がん検診				子宮頸がん検診			
	1.胃のエックス線検査	2.胃カメラ	3.胃がんリスク検査・ABC検査	胃がん検診計※	4.胸部エックス線検査	5.喀痰検査	6.気管支鏡検査	肺がん検診計※	7.便の潜血検査	8.大腸のエックス線検査	9.大腸の内視鏡検査	大腸がん検診計※	10.乳房のエックス線検査	11.乳房の超音波検査	12.乳房の視触診検査	乳がん検診計※	13.細胞診検査(妊婦健診以外)	14.細胞診検査(妊婦健診)	子宮頸がん検診計※
市町村国民健康保険	24.1	24.1	14.4	40.3	43.7	6.2	5.9	44.0	35.2	6.0	12.4	39.4	35.9	21.1	24.3	38.0	24.9	9.6	27.7
市町村以外の国民健康保険	32.6	27.4	23.0	53.7	51.3	14.3	15.0	52.8	45.2	16.7	18.0	47.3	38.8	36.3	34.3	48.2	35.1	21.1	37.3
協会けんぽ	36.8	31.6	21.3	60.7	65.6	5.2	4.0	65.7	55.6	5.5	11.7	57.3	48.1	28.3	32.5	51.6	36.7	17.2	41.3
組合管掌健康保険	40.0	35.1	24.9	66.9	70.4	7.4	5.0	70.7	61.1	5.5	13.2	63.0	52.4	39.3	37.8	60.2	44.2	18.3	47.7
共済組合	42.3	40.0	28.7	69.0	70.7	11.2	7.7	70.8	54.1	9.1	13.5	56.9	53.8	31.3	44.5	64.5	40.2	22.7	47.7
その他	27.4	22.8	18.9	37.0	41.9	7.9	8.3	41.9	35.6	9.1	14.4	38.3	38.6	26.0	26.6	40.4	21.2	12.7	25.9
合計	33.0	29.9	20.3	51.3	57.9	6.9	5.7	58.1	48.3	6.5	12.7	51.0	30.7	17.0	18.7	33.7	33.7	15.4	37.7

※各検診集計は、各々の検診に関する検査のいずれか1つでも受けた人の割合

○がん検診の種類を問わず、共済組合加入者、組合管掌健康保険において受診率が高く、市町村国民健康保険、市町村以外の国民健康保険加入者において低い傾向がみられる。

(5) 地域別の受検傾向

表1-5 がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況(地域別)

(単位:%)

	胃がん検診			肺がん検診				大腸がん検診				乳がん検診				子宮頸がん検診			
	1.胃のエックス線検査	2.胃カメラ	3.胃がんリスク検査・ABC検査	胃がん検診計※1	4.胸部エックス線検査	5.喀痰検査	6.気管支鏡検査	肺がん検診計※2	7.便の潜血検査	8.大腸のエックス線検査	9.大腸の内視鏡検査	大腸がん検診計※3	10.乳房のエックス線検査	11.乳房の超音波検査	12.乳房の視触診検査	乳がん検診計※4	13.細胞診検査(妊婦健診以外)	14.細胞診検査(妊婦健診)	子宮頸がん検診計※
丹後	39.3	27.6	18.0	50.0	67.9	7.5	8.2	67.9	57.6	6.1	9.5	57.6	56.7	9.5	18.9	56.7	41.1	10.7	44.1
中丹西	36.3	34.2	29.1	51.5	50.9	3.8	3.8	50.9	33.2	4.5	9.9	34.7	23.5	14.9	39.4	44.7	24.6	11.5	26.6
中丹東	39.5	36.9	15.5	62.5	69.1	6.5	6.0	69.1	56.6	7.6	14.2	58.0	70.3	11.0	28.6	70.3	32.4	12.5	34.8
南丹	31.2	25.9	17.7	50.7	60.9	5.7	3.5	60.9	48.5	8.3	13.0	53.5	36.4	24.4	29.4	39.0	32.7	17.8	36.8
京都市	30.8	30.5	20.4	51.5	55.4	6.7	6.1	55.5	45.6	6.3	13.0	48.6	41.5	32.2	29.5	46.8	32.6	15.3	36.6
乙訓	34.1	27.7	23.6	56.0	55.9	5.9	6.6	55.9	53.7	9.1	16.4	56.2	51.9	35.7	39.1	54.6	35.7	18.9	41.8
山城北	36.1	26.6	18.7	54.4	58.0	8.7	4.7	58.8	51.0	5.6	11.4	53.6	45.9	26.2	33.7	48.6	35.9	15.4	40.2
山城南	34.5	34.5	24.6	61.8	70.3	7.5	5.0	71.2	56.9	7.0	12.5	59.1	53.5	26.5	44.1	56.0	39.2	17.4	42.6
合計	33.0	29.9	20.3	51.3	57.9	6.9	5.7	58.1	48.3	6.5	12.7	51.0	44.5	28.4	31.4	48.9	33.7	15.4	37.7

※各検診集計は、各々の検診に関する検査のいずれか1つでも受けた人の割合

- 胃がん検診の受診率は中丹東において最も高く62.5%である。丹後において最も低く50.0%である。
- 肺がん検診の受診率は山城南において最も高く71.2%である。中丹西において最も低く50.9%である。
- 大腸がん検診の受診率は山城南において最も高く59.1%である。中丹西において最も低く34.7%である。
- 乳がん検診の受診率は中丹東において最も高く70.3%である。南丹において最も低く39.0%である。
- 子宮頸がん検診の受診率は丹後において最も高く44.1%である。中丹西において最も低く26.6%である。

1. がん検診の受診及びがん検診に関する検査の受検状況

(6) 受診場所

表1-6 がん検診の受診場所別構成割合(がん検診の種類別)(複数選択)

(単位:%)

種別	検査項目	対象者数	受診								未受診
			市町村	職場	人間ドック	商工会・農協等	その他	全額自己負担による受診	医療機関で類似検査		
胃がん	1.胃のエックス線検査	4,669	33.0	6.5	16.2	8.8	0.2	0.1	0.3	1.5	67.0
	2.胃カメラ		29.9	3.0	6.7	11.6	0.1	0.1	1.8	7.2	70.1
	3.胃がんリスク検査・ABC検査		20.3	2.3	5.7	6.7	0.2	0.2	1.3	4.2	79.7
肺がん	4.胸部エックス線検査	4,669	57.9	9.5	29.1	15.0	0.3	0.2	0.7	4.9	42.1
	5.喀痰検査		6.9	1.1	2.0	2.7	0.1	0.2	0.2	0.8	93.1
	6.気管支鏡検査		5.7	0.8	1.4	2.2	0.1	0.1	0.2	1.0	94.3
大腸がん	7.便の潜血検査	4,669	48.3	9.0	22.5	14.3	0.2	0.6	0.4	2.5	51.7
	8.大腸のエックス線検査		6.5	0.8	1.5	2.4	0.1	0.1	0.2	1.4	93.5
	9.大腸の内視鏡検査		12.7	1.0	1.6	3.0	0.1	0.2	1.9	5.4	87.3
乳がん	10.乳房のエックス線検査	2,415	44.5	16.9	9.3	8.8	0.1	0.1	4.0	6.8	55.5
	11.乳房の超音波検査		28.4	5.9	5.6	6.6	0.1	0.2	4.1	7.2	71.6
	12.乳房の視触診検査		31.4	9.3	6.6	6.3	0.1	0.2	3.4	6.6	68.6
子宮頸がん	13.細胞診検査(妊婦健診以外)	3,746	33.7	10.1	8.0	6.5	0.2	0.2	2.3	8.0	66.3
	14.細胞診検査(妊婦健診)		15.4	3.9	2.2	2.0	0.1	0.1	0.9	6.7	84.6

※「受診」はいずれかの場所で受けた人の割合

○「1.胃のエックス線検査」「4.胸部エックス線検査」「7.便の潜血検査」は職場が最も多い。

○「2.胃カメラ」「3.胃がんリスク検査・ABC検査」「5.喀痰検査」「6.気管支鏡検査」「8.大腸のエックス線検査」「11.乳房の超音波検査」は人間ドックが最も多い。

○「10.乳房のエックス線検査」「12.乳房の視触診検査」「13.細胞診検査(妊婦健診以外)」は市町村が最も多い。

○「9.大腸の内視鏡検査」「14.細胞診検査(妊婦健診)」は医療機関で類似検査が最も多い。

2. がん検診の受診・未受診理由

(1) 受診のきっかけ

－ 全体的な傾向 －

表2-1 がん検診を受けたきっかけ(複数選択) (単位:%)

受診のきっかけ	割合
市町村から個別通知がきたから(あなた宛の郵便物)	22.1
市町村から無料クーポン券が届いたから	8.4
市町村または職場の費用補助があるから	16.2
市町村の広報誌(市民しんぶんなど)や回覧板をみたから	5.1
かかりつけ医や薬局など医療従事者からの声かけや、ポスターやチラシをみたから	7.5
職場での回覧物、通知をみたから	19.4
家族や友人からすすめられたから	4.8
芸能人など有名人のがん闘病に関するニュース等をみたから	1.8
家族や職場や知人などがん闘病に関する話を聞いたから	4.5
がん検診の必要性を理解しているから	30.1
その他	16.7

○「がん検診の必要性を理解しているから」が30.1%で最も多く、次いで「市町村から個別通知がきたから(あなた宛の郵便物)」(22.1%)、「職場での回覧物、通知をみたから」(19.4%)が続く。

－ 性・年代別の傾向 －

表2-2 がん検診を受けたきっかけ(性・年代別)(複数選択) (単位:%)

受診のきっかけ	男性				女性					
	40～49歳	50～59歳	60～69歳	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	計
市町村から個別通知がきたから(あなた宛の郵便物)	9.4	11.6	21.0	14.3	19.3	19.2	22.3	23.4	42.9	27.6
市町村から無料クーポン券が届いたから	4.1	4.3	3.8	4.1	15.4	11.5	14.5	8.8	9.3	11.5
市町村または職場の費用補助があるから	17.3	10.9	13.6	14.1	14.1	17.4	20.2	17.3	16.6	17.6
市町村の広報誌(市民しんぶんなど)や回覧板をみたから	1.6	1.6	3.4	2.3	2.3	3.5	4.9	7.7	12.1	7.1
かかりつけ医や薬局など医療従事者からの声かけや、ポスターやチラシをみたから	2.7	3.5	7.3	4.6	14.5	15.7	6.7	6.7	9.6	9.6
職場での回覧物、通知をみたから	32.5	29.5	20.1	27.1	17.1	10.8	19.3	16.7	7.3	13.9
家族や友人からすすめられたから	4.5	3.3	3.5	3.8	9.9	5.8	6.2	5.7	3.4	5.6
芸能人など有名人のがん闘病に関するニュース等をみたから	1.3	0.6	0.2	0.7	2.5	3.9	4.1	1.2	1.8	2.7
家族や職場や知人などがん闘病に関する話を聞いたから	3.1	2.8	2.5	2.8	4.1	5.5	5.6	4.9	7.1	5.7
がん検診の必要性を理解しているから	21.7	28.7	30.9	27.0	22.4	33.9	30.6	31.9	36.6	32.4
その他	20.5	19.2	17.8	19.2	19.1	19.9	14.0	16.6	10.8	15.0

○男性40～49歳、男性50～59歳では「職場での回覧物、通知をみたから」が最も多い。

○女性は男性に比べ「職場での回覧物、通知をみたから」が少なく、「市町村から個別通知がきたから」「市町村から無料クーポン券が届いたから」が多い傾向がみられる。女性20～29歳、女性30～39歳では「かかりつけ医や薬局など医療従事者からの声かけや、ポスターやチラシをみたから」も1割半を占め、主なきっかけの一つとなっている。

2. がん検診の受診・未受診理由

(4) 未受診の理由

－全体的な傾向－

表3-1 未受診理由分類(複数選択) (単位:%)

分類	未受診の理由	割合
検診の負担感	費用がかかるから	20.9
	受ける時間がなかったから	10.9
	検診日と日程があわなかったから	9.4
	検診の場所が身近にないから	3.4
検診に対する意識	面倒であるから	14.0
	検査の方法に抵抗があるから	7.4
	病気がみつかるのが怖いから	4.9
	有効性を感じないから	5.8
	関心がないから	5.1
	健康に自信があるから	2.2
情報入手	対象年齢になっていないから	5.6
	日時・場所・申込方法を知らないから	7.9
	受けるつもりだったが忘れていた	5.0
医療を受けている	かかりつけ医がいるので受ける必要がないから	4.8
	その他	28.8

○未受診理由は、大きく「検診の負担感」「検診に対する意識」「情報入手」「医療を受けている」の4つに分類できる。

○具体的には「費用がかかるから」「面倒であるから」「受ける時間がなかったから」などの理由を挙げる者が多い。

－性・年代別の傾向－

表3-2 未受診理由分類(性・年代別)(複数選択) (単位:%)

分類	未受診の理由	男性				女性					
		40～49歳	50～59歳	60～69歳	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	計
検診の負担感	費用がかかるから	29.9	24.8	15.5	23.4	23.4	19.0	23.6	20.0	12.6	19.4
	受ける時間がなかったから	13.8	11.3	6.7	10.6	12.9	16.4	13.9	10.8	4.1	11.1
	検診日と日程があわなかったから	8.0	5.7	8.7	7.6	6.7	8.9	11.4	11.7	12.4	10.5
	検診の場所が身近にないから	2.7	3.0	3.5	3.1	2.2	3.7	2.9	4.8	3.9	3.5
検診に対する意識	面倒であるから	17.2	14.7	11.6	4.7	12.0	13.4	14.1	15.0	13.2	9.0
	検査の方法に抵抗があるから	4.9	4.1	5.2	14.5	4.5	5.3	11.2	10.3	11.0	13.6
	病気がみつかるのが怖いから	4.3	3.6	3.1	7.3	3.9	5.9	6.8	7.4	4.3	4.9
	有効性を感じないから	5.9	6.2	9.5	3.7	3.3	2.7	4.1	5.8	7.4	5.7
	関心がないから	7.6	5.8	3.6	5.7	10.8	4.8	3.0	4.1	3.1	4.8
	健康に自信があるから	3.3	2.6	2.6	2.8	3.9	1.9	1.8	1.2	0.8	1.8
情報入手	対象年齢になっていないから	3.6	1.7	0.7	7.2	23.3	15.7	4.6	1.2	1.0	8.3
	日時・場所・申込方法を知らないから	8.9	7.4	5.3	2.0	20.1	15.1	5.4	3.3	3.0	7.8
	受けるつもりだったが忘れていた	3.5	3.4	2.7	3.2	5.2	8.8	8.1	3.5	5.2	6.2
医療を受けている	かかりつけ医がいるので受ける必要がないから	2.2	4.9	10.4	5.8	1.6	2.7	1.9	5.0	8.2	4.1
	その他	22.9	32.6	38.8	31.3	14.7	23.5	27.2	30.7	35.4	27.3

○性別・年齢を問わず、上位にあがる項目は全体的な傾向と同様である。

○60代男女で「かかりつけ医がいるので受ける必要がないから」を理由に挙げる者が多い。女性20～29歳、女性30～39歳では「対象年齢になっていないから」「日時・場所・申込方法を知らないから」を挙げる者が多く、主な理由の一つとなっている。

2. がん検診の受診・未受診理由

(5) 未受診理由「面倒であるから」と回答した人が希望する支援

表4 未受診理由「面倒であるから」と回答した人が希望する支援(性・年代別)(複数選択)

(単位:%)

n=		事前の申し込みが不要	スマホやインターネットなど簡単な手続きで申込ができる	がん検診が一度でまとめて受けられる	特定健診(メタボ健診)と同時に受けられる	かかりつけ医など身近な場所で受診できる	早期や土日や夜間に受診できる	コンビニや商業施設など買い物ついでに受けられる	郵送で受けられる(大腸がんの便潜血検査)	託児設備がある	会場まで送迎バス等がある	受診を忘れないための仕組みがある(ハガキやメール等での再通知)	その他
全体	791	29.8	33.0	39.6	12.7	30.0	22.3	14.3	14.8	3.2	8.8	12.3	10.7
男性	40～49歳	134	30.1	31.4	35.2	7.8	24.8	30.3	15.2	11.4	4.7	7.5	15.5
	50～59歳	91	29.0	36.0	38.9	12.7	23.4	28.6	12.1	8.5	0.7	6.8	7.7
	60～69歳	88	22.7	20.0	42.8	17.1	26.4	11.3	4.2	6.1	0.0	1.6	12.1
	計	313	27.7	29.5	38.4	11.8	24.8	24.5	11.2	9.1	0.2	4.4	8.9
女性	20～29歳	66	27.4	53.7	43.1	7.6	25.0	33.4	19.2	13.7	14.4	9.1	15.7
	30～39歳	77	25.6	45.6	41.2	9.6	36.7	25.8	19.3	18.7	16.0	15.5	20.3
	40～49歳	118	31.5	31.2	42.0	8.3	33.5	23.2	17.9	18.4	2.2	9.8	7.3
	50～59歳	101	30.0	32.9	41.2	23.0	31.5	22.8	14.5	12.5	0.0	9.2	8.2
	60～69歳	115	37.9	24.1	36.2	15.5	37.6	5.9	12.5	26.8	0.0	14.8	17.2
計	478	31.2	35.3	40.5	13.3	33.4	20.8	16.3	18.6	5.1	11.7	14.6	

○全体でみると、最も多くあげられたのは「がん検診が一度でまとめて受けられる」で39.6%である。次いで「スマホやインターネットなど簡単な手続きで申込ができる」(33.0%)、「かかりつけ医など身近な場所で受診できる」(30.0%)、「事前の申し込みが不要」(29.8%)と続く。

○男性40～49歳では「早期や土日や夜間に受診できる」が比較的多い。

○女性20～29歳、女性30～39歳では「スマホやインターネットなど簡単な手続きで申込ができる」が5割前後と特に多い。また「託児設備がある」が他の年代と比較して多い。

○女性20～29歳では「早期や土日や夜間に受診できる」も多い。

○女性60～69歳では「かかりつけ医など身近な場所で受診できる」が比較的多く、「事前の申し込みが不要」と並び、上位項目となっている。

3. 特定健診の受診状況

(1) 定期的な医療機関への通院

表5 定期的(概ね3カ月に1回以上)な医療機関への通院 (単位: %)

		n=	通院している	通院していない
全体		4,669	29.1	70.9
男性	40～49歳	820	17.0	83.0
	50～59歳	649	29.3	70.7
	60～69歳	784	43.3	56.7
	計	2,254	29.7	70.3
女性	40～49歳	850	18.5	81.5
	50～59歳	687	24.4	75.6
	60～69歳	878	41.4	58.6
	計	2,415	28.5	71.5

○全体では「通院している」が29.1%である。但し、年齢による差が大きく、男女ともに60歳～69歳では4割を超える。

3. 特定健診の受診状況

(2) 特定健診(メタボ健診)の受診

表6-1 特定健診(メタボ健診)の受診 (単位:%)

		n=	毎年受けている	数年に1回程度	受けたことがない
全体		4,669	27.3	12.6	60.1
男性	40~49歳	820	25.5	9.3	65.2
	50~59歳	649	30.1	12.4	57.5
	60~69歳	784	34.8	15.4	49.8
	計	2,254	30.1	12.3	57.6
女性	40~49歳	850	18.2	8.6	73.2
	50~59歳	687	27.1	13.8	59.1
	60~69歳	878	28.9	16.3	54.8
	計	2,415	24.6	12.9	62.5

○全体では3割弱が「毎年受けている」。男性の受診率が高く、男性50~59歳、60~69歳では3割強が毎年受診している。
一方、女性40~49歳では7割強が「受けたことがない」と回答している。

(3) 特定健診(メタボ健診)の受診場所

表6-2 特定健診(メタボ健診)の受診場所 (単位:%)

		n=	市町村(指定医療機関や巡回健診を含む)	職場(指定医療機関や巡回健診を含む)	人間ドック	健診機関の巡回	その他
全体		1,861	27.1	44.4	20.2	3.4	4.9
男性	40~49歳	285	11.0	63.6	18.7	3.4	3.2
	50~59歳	276	12.6	56.2	22.7	4.0	4.5
	60~69歳	394	26.9	40.7	23.9	2.8	5.7
	計	955	18.0	52.0	22.0	3.3	4.6
女性	40~49歳	228	20.2	55.5	18.7	2.9	2.7
	50~59歳	281	26.0	45.6	15.9	4.9	7.6
	60~69歳	397	53.7	18.7	19.6	3.0	5.1
	計	906	36.7	36.3	18.2	3.5	5.3

○全体では、最も多いのは「職場(指定医療機関や巡回健診を含む)」での受診であり4割強を占める。

○男女とも60~69歳では「市町村(指定医療機関や巡回健診を含む)」での受診が多くなり、男性では3割弱が、女性では5割強を占める。

3. 特定健診の受診状況

(4) 特定健診(メタボ健診)の情報認知経路

表6-3 特定健診(メタボ健診)の情報認知経路(複数選択)

(単位: %)

n=		市町村等の 広報紙	職場等での 回覧物	個別の通知文	家族・知人の すすめ	医療機関や薬 局に掲示してい るポスターや チラシ	その他	
全体	1,861	19.3	40.0	19.9	3.6	7.8	17.9	
男性	40~49歳	285	6.9	55.8	10.8	3.8	6.6	24.0
	50~59歳	276	9.1	55.2	11.6	2.6	7.0	20.2
	60~69歳	394	19.3	40.2	20.8	2.4	12.2	14.3
	計	955	12.6	49.2	15.2	2.9	9.0	18.9
女性	40~49歳	228	12.6	47.3	18.4	4.5	4.8	20.4
	50~59歳	281	18.0	36.9	24.3	3.8	9.4	16.1
	60~69歳	397	40.3	15.8	29.1	4.5	5.3	15.4
	計	906	26.4	30.3	24.9	4.3	6.5	16.9

○主な情報認知経路は「職場等での回覧物」で全体では4割を占める。

○60~69歳では「市町村等の広報紙」、「個別の通知文」からの認知者も2割~4割を占める。

(5) 特定健診(メタボ健診)未受診者が希望する支援

表6-4 特定健診(メタボ健診)未受診者が希望する支援(複数選択)

(単位: %)

n=		事前の申し込みが不要	スマホやインターネットなど簡単な手続きで申込ができる	がん検診と一度でまとめて受けられる	早朝や土日や夜間に受診できる	コンビニや商業施設など買い物ついでに受けられる	託児設備がある	会場まで送迎バス等がある	受診を忘れないための仕組みがある(ハガキやメール等での再通知)	その他	
全体	2,808	18.9	17.1	21.7	13.3	9.4	0.8	3.6	8.5	49.4	
男性	40~49歳	535	19.5	19.4	17.5	19.4	10.3	0.1	2.0	7.8	45.7
	50~59歳	373	17.0	16.3	16.2	13.8	7.6	0.3	1.5	6.8	55.4
	60~69歳	391	15.2	12.2	20.9	10.4	6.0	0.0	3.2	8.9	59.1
	計	1,299	17.5	16.3	18.1	15.1	8.2	0.1	2.2	7.9	52.5
女性	40~49歳	622	23.5	24.6	27.6	17.1	12.2	2.8	4.3	12.2	39.1
	50~59歳	406	15.5	15.3	23.5	9.6	9.8	0.7	5.1	8.5	48.0
	60~69歳	481	19.5	11.0	22.2	6.4	8.4	0.0	5.2	5.5	55.4
	計	1,509	20.1	17.8	24.7	11.7	10.3	1.3	4.8	9.1	46.7

○全体では、最も多いのは「その他」で49.4%を占める。次に多いのは「がん検診と一度でまとめて受けられる」「事前の申し込みが不要」「スマホやインターネットなど簡単な手続きで申込ができる」が2割前後となっている。

4. 喫煙について

(1) 自身の喫煙状況

表7-1 自身の喫煙状況

(単位: %)

		n=	吸っている	吸っている (禁煙していたことがある)	吸っていない (過去に吸っていたことがある)	吸ったことがない
全体		6,000	15.8	1.9	27.4	55.0
男性	40～49歳	820	26.5	2.8	32.1	38.6
	50～59歳	649	29.1	3.4	35.6	31.8
	60～69歳	784	20.6	0.9	53.0	25.4
	計	2,254	25.2	2.3	40.4	32.0
女性	20～29歳	629	6.6	0.9	11.1	81.4
	30～39歳	702	7.6	2.3	20.3	69.7
	40～49歳	850	11.5	1.8	23.3	63.4
	50～59歳	687	13.2	1.1	18.1	67.7
	60～69歳	878	10.8	1.6	22.6	65.0
	計	3,746	10.1	1.6	19.6	68.8

○全体では「吸ったことがない」「吸っていない(過去に吸っていたことがある)」が、82.4%を占め、「吸っている」「吸っている(禁煙していたことがある)」は17.7%である。

(2) パートナー(または同居人)の喫煙状況

表7-2 パートナー(または同居人)の喫煙状況

(単位: %)

		n=	吸っている	吸っていない	以前は吸っていたが、今はやめた(元喫煙者である)	パートナー(または同居人)はいない
全体		6,000	18.4	45.5	16.0	20.2
男性	40～49歳	820	10.0	59.4	10.7	19.9
	50～59歳	649	9.2	61.2	8.3	21.3
	60～69歳	784	8.7	67.8	6.9	16.6
	計	2,254	9.3	62.8	8.7	19.2
女性	20～29歳	629	24.1	37.9	10.7	27.3
	30～39歳	702	23.7	41.7	17.9	16.7
	40～49歳	850	24.4	35.8	20.3	19.5
	50～59歳	687	23.5	33.9	19.0	23.6
	60～69歳	878	23.3	27.8	30.2	18.6
	計	3,746	23.8	35.0	20.3	20.8

○全体では、パートナーは「吸っていない」「以前は吸っていたが、今はやめた(元喫煙者である)」が61.5%を占め、「吸っている」は18.4%である。

○女性でパートナーが「吸っている」が多く、2割強を占める。

(3) たばこに対する認識

表7-3 たばこに対する認識(複数選択)

(単位: %)

		n=	たばこは肺がんをはじめとする、がんの原因となる	たばこの煙は吸っている本人だけでなく、周りの人の健康にも悪影響を及ぼす	たばこは脳卒中や心筋梗塞、肺気腫などの病気の原因となる	たばこには依存症がある	たばこをやめることで、健康被害の可能性を減らすことができる	たばこは予防できる最大の死亡原因である	健康保険を利用した禁煙治療がある	妊婦・出産後の喫煙は、乳幼児突然死症候群(SIDS)、早産、流産、低出生体重児などの割合が高くなる	たばこは肌荒れ、しわやしみの増加、頭髮の変化(白髪、脱毛)、唇の乾燥、歯・歯肉の着色、口臭、声の変化(いわゆる「スモーカーズフェイス」)を引き起こす	その他
全体		6,000	88.3	84.6	69.7	79.6	70.3	43.3	45.6	56.2	54.8	4.8
男性	40～49歳	820	84.8	77.4	64.9	75.4	63.3	35.5	43.1	44.4	45.9	7.5
	50～59歳	649	82.6	75.3	64.2	72.5	63.5	39.1	45.1	44.1	41.1	7.5
	60～69歳	784	85.1	82.8	70.8	78.4	69.6	41.3	46.1	46.7	42.2	6.5
	計	2,254	84.3	78.7	66.8	75.6	65.6	38.6	44.7	45.1	43.3	6.5
女性	20～29歳	629	92.1	87.4	70.0	85.3	74.5	47.8	35.1	65.7	68.1	2.6
	30～39歳	702	92.9	90.8	75.3	85.8	77.2	48.2	48.6	71.3	65.6	2.9
	40～49歳	850	90.2	87.4	72.1	81.7	72.7	46.4	49.1	64.1	61.1	3.7
	50～59歳	687	89.4	87.3	68.4	76.8	70.2	45.2	48.3	61.2	57.8	4.0
	60～69歳	878	89.6	88.0	71.3	80.9	71.6	43.7	47.3	54.3	57.9	3.7
	計	3,746	90.8	88.2	71.5	82.0	73.1	46.1	46.1	62.9	61.8	3.4

○全体では「たばこは肺がんをはじめとする、がんの原因となる」「たばこの煙は吸っている本人だけでなく、周りの人の健康にも悪影響を及ぼす」「たばこには依存症がある」が8割弱～9割弱であり、大半の人が認識している。「たばこをやめることで、健康被害の可能性を減らすことができる」についても7割が認識している。「たばこは予防できる最大の死亡原因である」「健康保険を利用した禁煙治療がある」については4割半程度にとどまる。

○男性は女性に比べて、多くの項目で低い。

4. 喫煙について

(4) 喫煙者の喫煙理由

表7-4 喫煙者の喫煙理由(複数選択)

(単位: %)

		自分にとって、リラックスタイムだから	生活習慣になっているから	たばこを吸うと気分転換になるから	吸わないとストレスがたまるから	口が寂しいから	集中力が出るから	やめる方が身体に悪そうだから	家族、パートナー(または同居人)が吸っているから	喫煙所でのコミュニケーションが大切だから	やめると体重が増えるから	以前、禁煙に失敗したから	メンソール入りたばこは、健康面での悪影響が少ないから	加熱式たばこは、紙巻きたばこより健康面での悪影響が少ないから	「やめよう」と思わないから、やめる理由が思い当たらないから	その他	
全体	n=1,058	68.3	54.0	52.1	44.7	25.0	10.5	6.4	5.3	9.7	9.5	9.3	3.0	9.9	19.3	3.8	
男性	40～49歳	240	68.7	59.6	56.0	43.6	15.7	9.3	1.5	14.7	10.2	10.0	2.9	11.8	18.8	3.1	
	50～59歳	212	71.8	53.3	50.2	40.3	20.4	8.8	6.7	0.9	5.6	8.3	1.6	7.7	18.1	5.5	
	60～69歳	169	74.5	55.7	57.3	52.2	21.0	15.9	7.9	4.3	9.9	7.6	4.5	13.3	21.6	4.3	
	計	621	71.3	56.4	54.4	44.8	24.7	13.4	8.0	2.0	11.8	8.6	8.8	2.9	10.8	19.3	4.3
女性	20～29歳	47	65.3	63.1	62.6	46.9	41.4	10.0	6.0	18.9	14.1	20.0	19.3	0.0	6.6	25.9	2.0
	30～39歳	70	67.0	68.6	61.1	56.4	38.4	14.1	4.1	15.9	12.5	24.4	21.3	3.9	8.6	20.5	1.0
	40～49歳	113	63.7	55.1	51.4	45.8	25.1	5.0	3.9	8.2	6.1	11.9	8.8	2.2	6.8	18.3	3.0
	50～59歳	98	65.7	49.9	38.2	45.0	15.7	4.2	7.4	7.3	0.9	4.3	6.3	1.8	11.0	12.6	8.5
	60～69歳	109	60.8	28.9	41.4	34.6	18.8	3.1	0.0	7.0	6.2	3.1	3.1	6.2	9.4	22.6	0.0
	計	437	64.1	50.4	48.7	44.6	25.3	6.3	4.0	10.1	6.8	10.9	10.0	3.1	8.6	19.3	3.0

○全体では「自分にとって、リラックスタイムだから」が最も多く、68.3%である。次いで「生活習慣になっているから」(54.0%)、「たばこを吸うと気分転換になるから」(52.1%)、「吸わないとストレスがたまるから」(44.7%)が続く。

○女性20～29歳、女性30～39歳では「口が寂しいから」も4割前後で多い。

(5) 禁煙者のたばこをやめた理由

表7-5 禁煙者のたばこをやめた理由(複数選択)

(単位: %)

		自分の健康のため	肌荒れや美容のため	たばこ代が高いから	喫煙可能な場所が減ってきたため	家族、パートナー(または同居人)の健康のため	自分の服や髪、口臭のおいが気になるから	家族、パートナー(または同居人)にやめるよう言われたから	妊娠した、子どもができたから	職場等で禁煙を求められたから	壁紙やカーテンなどが汚れるのが嫌だから	特になし	
全体	n=1,644	70.4	10.0	32.5	10.6	22.7	15.8	10.0	10.1	2.3	8.1	11.6	
男性	40～49歳	264	71.6	4.1	44.7	12.9	26.2	15.4	8.2	8.3	2.6	6.0	9.5
	50～59歳	231	74.0	1.1	34.6	11.3	24.0	10.0	8.6	3.8	3.1	8.0	13.1
	60～69歳	416	78.5	0.4	27.6	10.6	27.8	10.5	11.5	2.3	3.2	6.8	9.5
	計	910	75.3	1.6	34.3	11.4	26.4	11.8	9.8	4.4	3.0	6.9	10.4
女性	20～29歳	70	39.1	23.8	32.2	9.6	12.5	19.7	4.2	23.6	4.1	5.4	18.0
	30～39歳	143	51.4	27.0	34.8	11.2	20.3	21.5	14.7	25.2	1.2	8.1	19.0
	40～49歳	198	66.7	27.1	32.3	7.5	20.0	18.7	9.6	22.3	2.0	11.0	11.2
	50～59歳	124	65.7	14.0	26.6	6.7	19.2	17.0	8.3	11.9	1.4	8.6	16.6
	60～69歳	199	78.9	12.0	26.3	12.0	16.2	24.7	10.7	7.3	0.0	11.8	7.0
	計	734	64.2	20.5	30.2	9.5	18.2	20.7	10.2	17.1	1.4	9.7	13.2

○全体では「自分の健康のため」が最も多く、70.4%である。次いで「たばこ代が高いから」(32.5%)、「家族、パートナー(または同居人)の健康のため」(22.7%)が続く。

○女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳では「妊娠した、子どもができたから」が2割強を占め、主な理由の一つとなっている。

4. 喫煙について

(6) 禁煙外来を利用する場合に医療機関を選ぶポイント

表7-6 禁煙外来を利用する場合に医療機関を選ぶポイント(複数選択)

(単位:%)

n=		家または職場からの距離が近い	平日夜間、または土曜日に受診ができる	ネットやスマホから予約ができる	予約日前にメールやハガキ通知など忘れのない仕組みがある	クレジットカードや電子マネー等現金以外で支払いができる	ホームページに禁煙外来に関する情報が充実している	オンライン診療ができる(自由診療)	経験豊富な医師・看護師がいる	臨床心理士等、多職種によるカウンセリング等の支援(複数選択)が受けられる	その他
全体	6,000	57.4	34.4	29.4	9.8	19.4	15.3	11.6	24.6	14.8	24.7
男性	40~49歳	820	52.3	34.9	23.7	7.0	19.2	11.5	10.6	16.3	27.2
	50~59歳	649	47.6	25.6	16.3	6.0	12.7	7.0	7.2	14.9	34.9
	60~69歳	784	45.5	24.7	15.6	6.1	12.8	8.3	6.4	19.8	37.8
	計	2,254	48.6	28.7	18.7	6.4	15.1	9.1	8.2	17.1	33.1
女性	20~29歳	629	70.1	48.4	46.0	11.0	26.7	23.7	17.8	33.0	18.7
	30~39歳	702	71.5	48.1	48.3	12.0	27.0	25.2	14.0	33.4	18.9
	40~49歳	850	60.3	37.5	33.6	11.5	19.1	18.9	13.0	25.4	22.7
	50~59歳	687	57.2	34.4	28.5	10.1	19.0	14.5	11.8	25.6	23.4
	60~69歳	878	57.0	25.1	26.3	14.2	19.4	14.6	12.5	28.7	22.1
	計	3,746	62.7	37.8	35.8	11.9	21.9	19.1	13.6	29.0	18.8

○全体では「家または職場からの距離が近い」が最も多く、57.4%である。次いで「平日夜間、または土曜日に受診ができる」(34.4%)、「ネットやスマホから予約ができる」(29.4%)が続く。

○女性は男性に比べて、多くの項目で高い。

(7) 改正健康増進法に対する態度

表7-7 改正健康増進法に対する態度(複数選択)

(単位:%)

n=		まずは、法の内容を周知し、徹底してほしい	さらに規制を強化すべき	法の内容は厳しすぎる	その他	わからない
全体	6,000	55.0	30.2	12.2	2.8	15.8
男性	40~49歳	820	46.5	31.6	19.2	2.9
	50~59歳	649	48.5	29.5	16.6	4.1
	60~69歳	784	53.0	35.2	16.2	4.6
	計	2,254	49.3	32.2	17.4	3.9
女性	20~29歳	629	58.9	32.4	10.7	0.9
	30~39歳	702	56.5	30.6	9.5	2.6
	40~49歳	850	57.9	28.6	8.7	2.9
	50~59歳	687	56.7	27.6	9.3	2.8
	60~69歳	878	61.7	26.8	7.6	1.3
	計	3,746	58.5	29.0	9.0	2.1

○全体では「まずは、法の内容を周知し、徹底してほしい」が最も多く、55.0%である。「さらに規制を強化すべき」は30.2%、「法の内容は厳しすぎる」は12.2%である。

○男性は女性に比べて「法の内容は厳しすぎる」が比較的多い。

4. 喫煙について

(8) 受動喫煙防止対策が不十分だと思う施設

表7-8 受動喫煙防止対策が不十分だと思う施設(複数選択)

(単位:%)

n=		保育園(所)、幼稚園	小・中・高等学校	大学・専門学校	医療機関	老人ホーム等の社会福祉施設	官公庁施設	博物館、美術館	公園、体育館などのスポーツ施設	公共交通機関	スーパー、小売店	百貨店、ショッピングセンター	ホテル、旅館などの宿泊施設	金融機関、郵便局	劇場、映画館	飲食店	ゲームセンター、パチンコ店等の娯楽施設	その他	あてはまるものはない	
全体	6,000	6.7	8.1	10.7	9.6	6.9	11.0	5.4	17.3	15.0	16.0	11.9	16.0	4.9	7.8	37.3	36.3	7.9	29.3	
男性	40～49歳	820	8.4	10.8	10.0	11.3	8.2	13.7	6.1	15.7	14.9	14.4	12.3	16.6	5.7	7.8	32.4	32.3	5.5	35.8
	50～59歳	649	8.4	9.2	11.5	10.1	7.9	13.1	6.0	15.9	13.4	13.8	10.4	16.5	5.2	8.0	34.7	28.4	6.7	37.2
	60～69歳	784	8.0	9.3	12.3	7.9	7.9	17.3	6.0	18.7	14.0	13.6	11.4	20.3	5.6	8.6	42.9	39.4	7.9	30.4
	計	2,254	8.2	9.8	11.2	9.8	8.0	14.8	6.0	16.8	14.2	13.9	11.4	17.9	5.5	8.1	36.7	33.6	6.7	34.3
女性	20～29歳	629	6.6	7.8	14.2	10.4	6.2	6.5	4.8	17.0	14.2	13.1	9.4	13.8	3.0	5.7	33.8	37.8	7.0	23.4
	30～39歳	702	6.0	7.1	10.6	11.9	7.2	8.7	5.3	19.9	18.3	20.6	12.4	17.5	4.8	7.5	38.0	38.3	9.7	23.3
	40～49歳	850	6.5	7.5	9.0	9.5	5.6	9.5	5.8	18.0	16.3	17.6	12.2	15.3	4.5	8.0	36.7	35.5	10.2	29.2
	50～59歳	687	6.0	7.7	9.8	9.1	6.2	9.7	5.4	15.5	14.0	17.2	11.3	14.2	4.6	6.5	35.7	32.7	9.7	29.4
	60～69歳	878	4.0	5.8	9.2	7.4	6.3	9.1	4.0	17.2	14.2	17.5	14.5	13.8	4.9	9.5	42.3	44.0	6.7	25.6
	計	3,746	5.7	7.1	10.4	9.5	6.3	8.8	5.0	17.5	15.4	17.3	12.1	14.9	4.4	7.6	37.6	37.9	8.6	26.3

○全体では「飲食店」が最も多く、37.3%である。次いで「ゲームセンター、パチンコ店等の娯楽施設」(36.3%)、「あてはまるものはない」(29.3%)が続く。

(9) 受動喫煙防止対策のために京都府に望むこと

表7-9 受動喫煙防止対策のために京都府に望むこと(複数選択)

(単位:%)

n=		受動喫煙の健康への悪影響についての周知を強化する	たばこを吸う人の喫煙マナーがさらに向上するように啓発する	たばこを吸う人が禁煙に取り組みやすい支援(複数選択)体制を充実させる	喫煙室設置のための国の支援(複数選択)制度等について情報提供する	施設が禁煙または喫煙可能かを示す表示を徹底させる	路上や公園、運動施設など屋外において望まない受動喫煙を防ぐための対策を強化する	家庭内における受動喫煙防止の重要性を啓発する	その他	
全体	6,000	41.7	54.0	29.7	13.9	29.5	44.8	11.7	3.5	
男性	40～49歳	820	40.4	52.6	28.3	15.3	28.5	35.5	9.5	4.8
	50～59歳	649	38.4	52.9	24.7	17.0	27.3	34.8	9.1	5.9
	60～69歳	784	44.3	58.5	24.0	15.0	33.2	43.9	6.7	4.1
	計	2,254	41.2	54.7	25.8	15.7	29.8	38.2	8.4	4.9
女性	20～29歳	629	40.2	56.8	33.3	14.5	27.3	46.3	13.0	2.1
	30～39歳	702	34.8	52.8	36.3	14.5	30.0	55.2	11.1	3.5
	40～49歳	850	40.7	54.6	29.1	11.5	25.6	48.7	12.7	2.6
	50～59歳	687	44.4	55.3	31.2	11.3	27.5	43.5	13.9	2.3
	60～69歳	878	48.7	49.4	31.4	12.7	35.7	49.6	17.0	2.7
	計	3,746	42.0	53.5	32.1	12.8	29.4	48.8	13.7	2.7

○全体では「たばこを吸う人の喫煙マナーがさらに向上するように啓発する」が最も多く、54.0%である。次いで「路上や公園、運動施設など屋外において望まない受動喫煙を防ぐための対策を強化する」(44.8%)、「受動喫煙の健康への悪影響についての周知を強化する」(41.7%)が続く。